

2019年12月18日

報道関係各位

株式会社ビジョナリーホールディングス
JASDAQ・コード 9263

店舗と同じ商品・サービスのご提供がいつでも、どこでも可能に！
車両型移動式店舗を2020年1月から導入、
順次サービスの開始へ
～機動力を活かしたイケアサービスの更なる拡充へ～



【車両型移動式店舗のイメージ】

株式会社ビジョナリーホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：星崎尚彦）は、眼の検査、メガネの調整・加工、アイケアリラクゼーションといったアイケアサービスや聴力測定を含む補聴器販売を機動的にご提供する新たな取り組みとして、車両型移動式店舗を2020年1月から導入し、全国を対象に順次サービスを展開していきます。

当社グループは、2014年6月に眼の健康寿命を延ばすために必要なあらゆる解決策を提供する企業としてアイケアに注力した商品・サービス展開とその拡充を図ってきました。そのアイケアサービスの根幹となっているのが「トータルアイ検査」で、最大52項目の検査メニューや夜間視力検査をはじめとした専門的な検査により、きめ細かくお客様の眼の状態や視距離をお調べする事で、用途や生活にあった最適なメガネ作りのご提案を行っております。

そうした中で、当グループはご高齢や病気などでご来店が容易でない方々に、ご自宅、介護施設、病院に訪問して店舗と同じ質の高い商品・サービスをご提供する「メガネと補聴器の出張訪問サービス」を2016年8月から本格展開し、ご利用者様をはじめご家族や介護、医療現場の関係者の皆様から大変ご好評をいただいております。

また、近年の異常気象や地震による被災者の方への支援活動として、被災直後に店舗や避難所において「既製老眼鏡の無償提供」、「使い捨てコンタクトレンズの緊急用無料配布」、「補聴器用空気電池の無料配布」を行っております。

そうした背景から、当グループでは店舗と同じサービスをいつでもどこでもご提供できる車両型移動式店舗を2020年1月から導入し、順次サービスを展開していきます。今回の導入を通じて、眼やメガネ、また補聴器にお困りの方に場所や時間を選ばずに迅速に対応できる体制を構築することで、更なるサービスレベル向上を図ってまいります。なお今回の導入は1両となりますが、車両の稼働状況を見た上で今後随時追加していく予定です。

■想定している活動

①既存出張訪問サービスの広がり

一般企業や工場の従業員の皆様向けに、専門機器類をフル活用した集団視力測定などを実施します。また、当グループ未進出地域におけるポップアップストアとしての短期間出店、大型商業施設の駐車場などを利用した催事開催など、これまでに無い新しい活動を展開予定です。好評のエリアには定期訪問化を図り、新規顧客の獲得を図ってまいります。

②高齢化の過疎地域での活動

ご健康でもお買い物が困難な地域に住む人々に当グループの技術、サービス、商品を提供します。山村の過疎地、高齢化が進むニュータウン、離島など、点（個人のお客様）から面（地域社会で暮らすお客様）へとアイケアサービスの提供の場を広げます。

③自然災害被災地での支援活動

当グループは平成 28 年 4 月の熊本地震や西日本を中心に大きな被害のあった平成 30 年 7 月豪雨に対して現地店舗を起点とした出張訪問サービスにより支援活動を行ってまいりました。今後は車両の機動力を活かして、当グループの店舗網が無い被災地域にも出動し、迅速な支援活動の展開を行います。

④遠隔診療のサテライトとしての活用の検討

ますます進む高齢化社会において、遠隔診療が今後は大きな役割を果たしてゆくと考えられています。将来的には医療との連携により遠隔診療をサポートするサテライトとしての活用も検討していきます。

■車両諸元と主な装備

- ・全長 8,220mm、全幅 2,400mm、全高 3,520mm
- ・電動ウィンチ（牽引可能重量約 2 トン）、後部牽引装置、車イス昇降用電動リフト、
- ・電動オーニング（サイド&リア）、スピーカー、発動発電機他
- ・視力測定ルーム 2 室、夜間視力測定器
- ・リラクゼーションルーム、
- ・補聴器相談コーナー、
- ・レンズ加工機
- ・車内ネット環境による POS 関連機器 他